

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 1 区分  
【発行日】平成 18 年 12 月 28 日 (2006.12.28)

【公表番号】特表 2006-505281(P2006-505281A)  
【公表日】平成 18 年 2 月 16 日 (2006.2.16)  
【年通号数】公開・登録公報 2006-007  
【出願番号】特願 2004-551907(P2004-551907)  
【国際特許分類】

**A 2 4 F 47/00 (2006.01)**

【F I】

A 2 4 F 47/00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 7 日 (2006.11.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電気加熱式タバコ喫煙システムであって、  
加熱器ユニット、  
を含み、

前記加熱器ユニットは、タバコの端部を受け取るようになった開口部を有し、該加熱器ユニットはまた、該タバコの一部に熱を加えるようになっており、

前記加熱器ユニットは、喫煙者が該加熱器ユニットに配置された前記タバコを吸引する時に周囲空気が該タバコと接触するように吸引される吸い込み流路の少なくとも一部を形成し、

喫煙者により把持されるように設計されたハウジングと、

前記加熱器ユニットを前記ハウジングに対して位置決めし、かつ該ハウジングを取り囲む周囲空気と流体連通するバイパス流路を少なくとも部分的に形成する仕切りと、

を更に含み、

前記仕切りは、前記バイパス流路から前記吸い込み流路に至り、かつ喫煙者が前記加熱器ユニットの開口部に挿入されたタバコを吸う時に周囲空気が該バイパス流路から吸い込まれる分流流路を更に形成し、

前記分流流路における空気の流れを検知し、喫煙者が前記タバコを吸っていることを指示する信号を出力するように作動可能なセンサ、

を更に含むことを特徴とするシステム。

【請求項 2】

前記センサから信号を受け取ると前記加熱器ユニットを作動する電子回路を更に含むことを特徴とする請求項 1 に記載の電気加熱式タバコ喫煙システム。

【請求項 3】

電気加熱式タバコ喫煙システムであって、  
ハウジングと、

前記ハウジング内に配置され、タバコの一部をその間に受け取るようになった複数の加熱要素と、

前記タバコを加熱するための前記加熱要素にエネルギーを供給する電源と、

前記タバコのフィルタ部分で該タバコの一部を取り囲むチャンバを形成するマニホル

ド構成と、

を含み、

前記チャンバは、前記タバコの前記フィルタ部分内への開口部を通じて該タバコの内部部分と流体連通している、

ことを特徴とするシステム。

【請求項 4】

前記チャンバと連通して配置されたセンサを更に含み、

前記センサは、喫煙者が前記タバコを吸った結果として前記チャンバに生じた圧力降下を検知する、

ことを特徴とする請求項 3 に記載の電気加熱式タバコ喫煙システム。

【請求項 5】

前記電源は、前記センサから受信した信号を受け取ると前記加熱要素にエネルギーを供給することを特徴とする請求項 4 に記載の電気加熱式タバコ喫煙システム。